

喜念小学校 コミュニティ・スクールだより 第2号

～ 地域と学校の幸せの創造 ～

喜念小学校学校運営協議会事務局

1 第2回学校運営協議会の主な内容

- (1) 開催日時 令和5年7月19日(水) 19:00～20:30
- (2) 開催場所 喜念小学校 校長室
- (3) 主な活動・協議内容
 - 1学期の喜念小学校について
 - 信頼される学校づくりのための委員会
 - 熟議
 - ・ 第1回の熟議を受けて
 - ・ 残していきたい地域の文化や行事について

2 熟議の報告

(1) 「第1回の熟議：どんな子供たちに育てほしい？」を受けて

第1回学校運営協議会では、コミュニティ・スクールとしてのスタートにあたり、「育てたい子供像」について熟議を行いました。

第2回学校運営協議会では、委員の皆様からいただいた御意見をもとに策定した、「これからの喜念小学校で育成を目指す子供像」を確認し、承認を得ました。



「これからの喜念小学校で育成を目指す子供像」

【主に他者とのかかわりに関すること】

身近な人々（友達・保護者・地域の方々）との関わりの中で、元気なあいさつができ、思いやりと感謝の気持ちをもって他者に貢献しようとする子供を育む。

【主に自分自身に関すること】

自ら学び、気付き、考え、実行する中で、自分自身を承認しながら、未来への希望を見い出していく児童を育む。

2学期以降の教育活動は、上述の「目指す子供像」を踏まえながら推進して参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

☆☆ 裏面に続きます。☆☆

(2) 残していきたい地域の文化や行事について ～手おどり～

第2回学校運営協議会では、「残していきたい地域の文化や伝統行事」についての熟議も行いました。

委員の皆様からは、大きく3点、以下のことを教えていただきました。

- 地域の3大行事である「夏祭り」「敬老会」「十五夜」について
- かつての「もちたぼれ」について
- 「手おどり」について

この中で、「手おどり」については、現状、継承が厳しい状況にあり、このままでは失われてしまう懸念があることを伺いました。

「手おどり」について

- 地域に古くから伝わる伝統文化である。
- 手おどりは、太鼓の拍子・「なおとみ」と呼ばれる唄に合わせて行われる。
- 「なおとみ」は、12番までである。
- 12番の内、男性が6番、女性が6番に分かれる。
- おどりは、見様見真似でもできると思われる。
- 「なおとみ」の継承が1番の課題と思われる。

※ 伺ったお話から文章記述をしておりますので、標記に誤りがある可能性があります。どうぞ、御了承ください。

この現状を踏まえ、地域と学校が一体となり、手おどりの継承に向けて進んでいったらよいのではないかと結論に至りました。

そこで、学校と地域でできることを考え、次回の第3回学校運営協議会でも熟議を行い、継承に向けた動きを進めていくことにしました。

学 校	地 域
<ul style="list-style-type: none">○ 教育課程（学校の教育計画）に、「手おどり」の学習を位置付ける。○ 地域の方々の御協力をいただきながら、「手おどり」について、職員も子供たちも学んでいく。	<ul style="list-style-type: none">○ 「手おどり」ができる方々を探す。○ 特に「なおとみ」を子供たちに伝えることのできる方々を探す。○ 子供たちへの指導をお願いする。

地域と学校が一体となって手おどりの継承ができれば、地域にとっても学校にとってもたいへん意義深いものであり、学校運営協議会が目指す「地域と学校の幸せの創造」に資するものだと思っております。

「手おどり」につきまして、何か情報をもっていられらる方は、ぜひ、その情報を喜念小学校学校運営協議会事務局までお知らせください。

【事務局】 伊仙町立喜念小学校 TEL：86-2182（教頭：二木）